

「子どもの自己主張」、あなたはどうする？ 指導のためのプログラム

<展開例>

1. 指導の機会

保育所 (クラス懇談会)

2. 対象

2歳児保護者

3. ねらい

自我の育ちから自己主張が多くなるが、子どもの気持ちをしっかり受け止めることの大切さに気づく。

(1) 題材 Step 3 2歳児の成長の様子 子どもの心の育ちを大切に

(2) 展開

時配	指導の流れ	指導上の留意点
5	1 導入 (1) 今、子育てで困っていること等、メモし、発表しあう。 「子どもの自己主張」、あなたはどうする？	○メモ用紙を用意する。 ○簡単なメモで良い事を話す。 ○巡視をし、2～4名程度の指名計画を立てる。
15	2 展開 (1) 「自分でする!」「いや!」など自己主張や反抗場面などをとらえた写真を見せ、このような場面で親としてどのような言葉かけをしているか、また、どのような言葉かけをしたらよいかについて話し合う。 ①おもちゃの取りあいなどぶつかり合う場面 ②「自分でする!」手助けされることを嫌がる場面 ③思い通りにならないと大泣きする場面など・・・ (2) 話し合いの感想を発表する。	○各場面をとらえた写真を提示し、子どもの状況について説明を加える。 ○保護者が素直に話せるように2～4名の小グループをつくり、自由な雰囲気の中での話し合いを進める。 ○時間によっては場面を2つくらいに抑える。 ○2歳児は自己主張が強くなることを強調する。 ○各グループから1～3名を指名し、簡単に感想を発表してもらう。
10	3 まとめ ○家庭教育支援資料「子どもの育ちを大切に！<その2>」を配布し、子どもの心の育ちについて考える。	○忙しい時でも子どもとしっかり関わることの大切さに気づかせる。

- ・忙しくても子どもと会話をし、じっくりかかわる。
- ・「自分でする!」という気持ちをつぶさないで見守る。
- ・「だめだめ」だけではなく、なぜだめなのかをわかりやすく話したり、子どもが納得するような約束をし、守らせることが大切である。

子どもの気持ちを受け止め、我慢しなければならない場面には、きちんと我慢させる意識を持って対応する。

(2) 家庭教育支援資料「Step3 2歳児の成長の様子」の子育てワークシートをチェックし、今後の子育ての目安とする。

- 普段のコミュニケーションの大切さを強調する。
- 時と場合によっては我慢することも大切であることに気づかせる。

○あくまでも発達が目安であることや発達には個人差のあることを話す。